

## 市川市少年サッカー北ライオンズ杯交流戦(4、5、6年生以下の部)実施要項

※8人制。4チームブロックに分け、ブロック内で2試合を行う交流戦とします。

### [大会趣旨]

- ◎ コロナ感染防止に最大の配慮をしつつ、交流戦を通して、選手相互の親睦を深め、健全育成を図る。
- ◎ 試合を通して、ゲームを楽しみ、サッカーを愛する子を育てる。
- ◎ 指導力および審判の技術の向上を図る。

### 1. 大会名

市川市少年サッカー北ライオンズクラブ杯交流戦

2. 主催 市川市サッカー協会

3. 主管 市川市サッカー協会第四種委員会

4. 後援 市川市教育委員会

5. 日程 6年生以下の部 4月3日及び4月4日

5年生以下の部 4月4日

4年生以下の部 4月17日

予備日 4月18日

6. 会場 国府台スポーツセンター陸上競技場 国分川調節池緑地グラウンド

### 7. 参加資格

(1) 参加チームは市川市サッカー協会第四種委員会に加盟登録すること。

(2) 参加選手は市川市サッカー協会第四種委員会に個人登録すること。

(3) 大会参加者は全員、スポーツ安全協会傷害保険等に加入のこと。

(4) 大会参加者は全員、保護者の承諾を得ていること。

(5) 参加チームは、所定の大会参加申し込み手続きを終えたチームであること。

① 参加申込書 申し込み締め切り 3月18日(木)

② 事前メンバー登録表締め切り 3月27日(土)

(6) 当該学年の選手が少ない場合は、下学年から補充することができる。または他クラブとの合同チームも可とする。

(7) 当該学年が多い場合、複数チームのエントリーは可能である。下学年を入れても、他クラブとの合同でもよい。ただし、**チームに審判員1名の帯同**をお願いするとともに、交流戦のチーム数の調整上、当該学年の登録人数の多い順に大会事務局が割り振る。

### 9 競技規則

(1) 競技規則は「サッカー競技規則」による。

(2) **8人制サッカー**

- (3) 試合時間は10分 -(3分)- 10分 -(3分)-10分 の3ピリオド制  
 ※サイドの決定:第1ピリオドと第2ピリオドは、前後半制と同様コイントスで決定し、第2ピリオドはサイドを変更する。第3ピリオドは、第1ピリオドと同じサイドとする。
- (4) 当該学年を必ず先発させること。
- (5) 登録した選手は、最低1ピリオドは必ず出場すること。
- (6) 選手の交代は自由
- (7) 退場処分を受けた選手は、次の試合は出場ができないものとする。
- (8) 試合球は4号使用
- (9) PKのポイントは7mとする。
- (10) 競技場のセンターサークルは、少年用半径7m とし、ゴールエリアは、ポストから少年用4m、中へ少年用4mとする。ペナルティーエリアはポストから少年用12mとする。

## 10. 試合方法

- ・ 4チームブロックに分け、ブロック内で2試合を行う。

### (1) 試合日程

各会場とも2面のコートをつくり、以下のようにリーグ戦を行う

本部

Aコート

Bコート

#### 午前の部

- ① 9:00~9:45 Aコート a対b Bコート c対d
- ② 9:45~10:30 Aコート e対f Bコート g対h
- ③ 10:30~11:15 Aコート a対c Bコート B対D
- ④ 11:15~12:00 Aコート E対G Bコート F対H

#### 午後の部

- ① 13:00~13:45
- ② 13:45~14:30
- ③ 14:30~15:15
- ④ 15:15~16:00

※6年生以下の部 | ブロックの日程は、「6年生以下の部組み合わせ時間割」でお知らせします。

## 11. 運営方法

### (1) 審判について

- ・ 対戦する2チームから1名ずつ審判員(有資格者)を派遣し、協議の上、1名は主審、1名は4審となり審判を行う。主審はゲームのコントロール、4審はベンチのコントロールを主とする。
- ・ 別紙の計画にそって審判を行う。なお、審判服・ワッペンは必ず着用する。

### (2)その他

- ・ ユニホームの色彩が見にくいときは、ピブスの着用を可とする。
- ・ 各チーム指導者のベンチ入りは3名とする。
- ・ 試合当日メンバー表を所定の書式にそって提出すること。
- ・ 怪我については、応急処置は行うが、その後は保護者の責任において処置する。
- ・ 会場には絶対迷惑をかけないように、ごみ等の始末をきちんとする。

- ・ 駐車をする際にはチーム4台を上限とし、フロントガラス付近に各チームで駐車証を用意し、チーム名、氏名を明示すること。
- ・ 開会式・閉会式は行わない。
- ・ 雷の対応について

- ①落雷の予兆があった場合、選手の安全確保を最優先事項とし、速やかに試合を中断し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難する。
- ②試合開始後、雷（暴雨風や突発的な自然災害等）のために、試合を中断した場合、およそ30分間様子を見た上で再開できないと判断した場合、以下のように処理する。
  - ・前半が終了している場合、その時点のスコアにより試合成立とする。
  - ・前半の途中で中断し、再開できない場合は、中断時点からの再試合（スコア・出場選手
  - ・試合残り時間等、中断時点のものとする）を行うこととする。ただし、やむを得ない事情で該当選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。
- ③試合の中断は審判員の判断で行うが、会場責任者を中心に試合関係者の連携を密にし、中止等の決定を行うこととする。

## 12. 感染症対策

### (1) 試合開始前に施設に提出する文書を用意し受付時に本部に提出する。

- ①「市川市スポーツ施設利用時における新型コロナウイルス感染拡大防止のためのチェックシート」
- ②「市川スポーツ施設使用者名簿」の提出を受付時に行う。

※事前にHPからダウンロードしプリントアウトして作成して下さい。

※「市川スポーツ施設使用者名簿」には、選手、監督、コーチ、送迎用車の運転手等、観覧席を含めて利用するすべての方を記入して下さい。

### (2) 保護者の観戦は不可。原則として登録選手全員とベンチ入りする3名の監督、コーチとのみ可とする。加えて、会場までの移動手段が車の場合は運転手の方(4名まで)、公共交通機関等で移動の場合は引率者(4名まで)を可とするが、マスクを常に使用し、会話を控え、密を避けること。

### (3) 試合開始から終了までの流れは以下のとおりとする。

- ① 当日の自宅での検温に加えて、会場到着後、試合開始までに、再度非接触型体温計で検温し、体調の最終確認をする。
- ② 試合前後の整列、握手を行わない。
  - ※試合前時に両キャプテン、主審のみ集まり陣地を決定する。
- ③ 選手はキックオフ前にベンチより各ポジションに配置し準備する。
- ④ 試合終了時、選手はその場からベンチへ引き上げ、即ベンチから撤収する。
- ⑤ ベンチ内の監督、控え選手はソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、密着しない。
  - ※ベンチ内は全員マスクの着用を義務とする。但し、出場選手、審判は着用を自由とする。
- ⑥ 監督やコーチの大きな声での指導や指示、選手の大きな声での応援は禁止とする。
- ⑦ 試合終了後、両チームは使用したベンチを消毒する。

※感染症対策セット(検温器・消毒液・除菌洗剤・ペーパータオル ごみぶくろ)の用意有り。

⑧ 飲水用の容器は選手個人専用、審判員専用の水筒を一人1本準備する。

※飲水用のペットボトル、氷単体、クーラーボックスは持ち込みを禁止する。

#### (4)その他

① 各チームの荷物置き場は、会場内でチーム同士が近づかないようにする。(チーム内の距離含む)

② **会場内での飲食のうち、食は感染拡大の危険があるため、会場内では禁止とする。**

③ 会場内では常にマスクの着用をお願いします。特に試合を待つ間の過ごし方に注意して下さい。マスクをしていても、会話は控えめにお願いします。

④ 試合中に出場選手と審判はマスクの着用は自由とします。

⑤ 交流戦後にコロナウイルスの感染症状が確認された場合は、クラブ代表者を通じて大会事務局までお知らせ下さい。

⑥ **国分川調節池グランド会場のお願い**

・朝8時からのグランド設営にご協力下さい。午前の部のチームは、グランド設営の協力として、1名の参加をお願いします。

・国分川調節池グランドと道の駅いちかわの間の車道等車を停車させ、選手の乗降、荷物の積み降ろしをすることは厳禁します。

### 13. 試合決定

- ・ 全日 6:00決定
- ・ 市川市サッカー協会第4種委員会 HP に掲載する。

### 14. 大会事務局

八木 孝政 携帯 090-1055-1885

石原 一幸 携帯 090-2623-6585

- ・ 大会結果報告 市川市サッカー教会第四種委員会事務所 FAX 324-3207  
記録(HP)担当(行徳 SC 田所) メール [gyotoku\\_swallow@major.ocn.ne.jp](mailto:gyotoku_swallow@major.ocn.ne.jp)
- ・ 開会式を行わないため、大会の要項等は配布しない。4種 HP にて確認すること。
- ・ 閉会式を行わない。交流戦のため表彰は行わない。